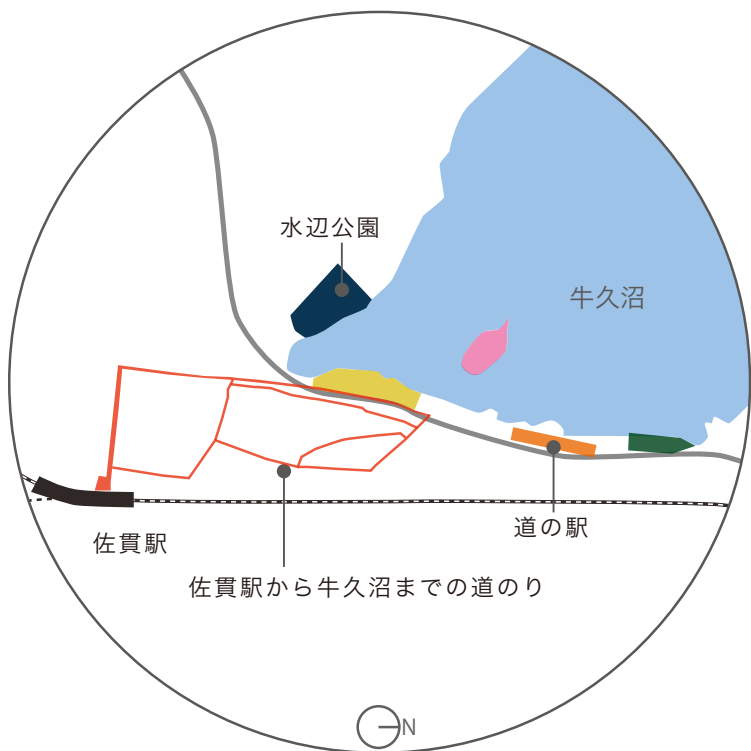




STREET DESIGN

2-3-F. 牛久沼までの道のりをつくる

佐貫駅から牛久沼までの道のりの考え方



1.誘導サインをオリジナルのものに

2.龍ヶ崎のキャラクターと連動したサインデザイン

3.シェアサイクルなどの採用

牛久沼まで楽しい仕掛けがいっぱい

普段見慣れている交通標識を楽しくデザインして、佐貫駅から牛久沼まで大人も子供も楽しく移動できる仕掛けを提案します。新しくデザインするサインは龍ヶ崎のキャラクターをモチーフにし、ユーモアあるデザインとし、佐貫市街地エリアと牛久沼を楽しく繋がめます。

その他、駅から牛久沼までシェアサイクルを導入し今よりも気軽に牛久沼へアクセスする仕組みも整えます。



賑わいイメージ

ディズニーワールドのサインシステム —目的地までワクワクさせる仕掛け—

(アメリカ)



フロリダ州にあるディズニーワールドでは園内の案内図(サイン)はもちろん、空港からディズニーワールドに至るハイウェイにまで、ディズニーの世界観を模したサインを展開している。通常のハイウェイサインは緑色の下地に白の文字だが、ディズニーが展開したサインは紫色と赤色の下地に独自の書体を使用したオリジナルなものに変更した。これは目的地まで向かう観光客を徐々にディズニーの世界に誘い込み、車内の観光客の期待感を盛り上げる役割を果たしている。



100年先の「感幸地」へ

美しい水辺、多様な生物、豊かな草木、感動的な夕陽、水辺から見渡すことの出来る富士山や筑波山など牛久沼にはすでに他の地域では得ることのできない豊かな自然環境があります。

この自然環境は龍ヶ崎市をはじめ周辺の地域にとってかけがえのない「資産」であることは明らかです。

本構想は豊かな自然と寄り添うように少しだけ手を加え、人と牛久沼の接点を数多く創ることで、牛久沼と共にある生活が地域の人々の心と体を豊にする「感幸地」へと成長することを目標としています。

多くの観光地のように外から人を呼びこむだけの場所として消費するだけではなく、

継続的に牛久沼の自然を守り育ててゆく思いの輪が何より大切です。

100年先の「感幸地」へ。

ここで生まれ育ち生活する全ての人々が「龍ヶ崎でよかった」と思えるまちづくりを目指します。